

めでいかすどる

Médicastre



「 梅 」

鶴岡地区医師会

20年 4月号

鶴岡地区医療学術懇話会抄録

日時：平成 20 年 3 月 26 日(水)

場所：東京第一ホテル鶴岡

『 ARBによる血管年齢改善とアンチエイジング 』

大阪大学大学院医学系研究科

臨床遺伝子治療学

森 下 竜 一 先生

日本人の死因の約 30%は、心筋梗塞・脳梗塞などの動脈硬化を基盤とした疾患であり、現在の降圧薬は単に血圧を下げるだけではなく、より積極的に臓器保護を図り、死亡率の減少に寄与できる薬剤が望まれている。特に、ACE 阻害薬や ARB などのレニン-アンジオテンシン系の阻害薬は、単なる降圧効果を超えて抗動脈硬化作用や抗糖尿病作用を有することが知られている。このような臓器保護作用は、生活習慣病のターゲットである血管に対しレニン-アンジオテンシン系阻害剤が作用するためであり、血管を標的とする重要性が示されている。ARB は、血管年齢を構成する各種指標において他の降圧剤よりアンチ・エイジング作用を示しているだけでなく、血管再生作用や線維化改善作用を有する肝細胞増殖因子（HGF）を増加させることから、より積極的な臓器改善作用を有していることを示している。

『 マンモグラフィと超音波による乳腺疾患の診断 』

国立病院寄稿名古屋医療センター放射線科

遠藤 登喜子 先生

乳腺疾患診療の目標は、救命可能な乳癌の診断と治療であり、マンモグラフィと超音波による画像診断が基本である。両検査法では、カテゴリー判定（カテゴリー 1：異常なし 2：良性、3：良性、しかし悪性を否定できない、4：悪性の疑い、5：悪性）を導入し、検診ではカテゴリー 1、2 を精査不要、3 以上を要精査とし、診療では考えられる疾患名とカテゴリーの併記により、悪性の程度をより正確に記録・伝達できるようになっている。

こうした概念の普及により、診療においても考え方が変化している。スピキュラを伴う腫瘍と構築の乱れを例に挙げると、スピキュラを伴う高濃度腫瘍はカテゴリー 5 であるが、腫瘍の濃度が低い場合にはカテゴリー 4 である。結果として病変が癌であっても、所見としてはカテゴリー 4 であってよい。何故ならば、同様の所見で良性疾患であることもありうるからである。（例として、硬化性乳頭腫の例を提示した。）また、非常に著明な構築の乱れも、構築の乱れ＝がんではない。検診マンモグラフィの普及により発見されるようになった両側性の構築の乱れは、複雑型硬化性病変の概念を普及させた。著明な構築の乱れもカテゴリー 5 にはならず、構築の乱れに高濃度腫瘍を伴って初めてカテゴリー 5 となる。

マンモグラフィでは高濃度乳房における病変発見率は高いとはいえない。名古屋医療センターにおける診療マンモグラフィの有所見率は、30 歳台前半では 67%、30 歳台後半と 40 歳代前半では 75%であった。検診では現在、マンモグラフィの限界を補う手段として視触診が採用されているが、さらに高精度の検診を実現を目指し超音波による RCT が行われている。ここで留意すべきは超音波検査法の特徴である。超音波検査は特定の部位を指定して検査をすれば非常に細かな

石灰化や小病変の描出・質診断も可能ではあるが、情報のない状態での病変探査においてその性能を求めることは困難である。愛知乳がん検診研究会が関与する検診施設における乳がん検出率は若年者も含めてマンモグラフィより劣っていた。また、愛知県での検診の成績をみると、検出率はほぼ同等ではあったものの、早期がん割合は 50% で視触診と同等であった。救命効果への貢献度を考慮した場合、検査法や画像の精度管理の重要性が明らかであり、現在、日本乳腺甲状腺超音波診断会議を中心として画像・機器・検査者・読影者の精度管理の推進が行われている。

今年の診療報酬の改定では、画像診断ではデジタル映像化処理加算が廃止の方向となり、電子画像管理加算が新たに登場した。マンモグラフィもいよいよフィルムレスへの対応が迫られているが、フィルムレス診断への移行にあっては、さまざまな考慮すべき事項がある。フィルムレス診断ではアナログに比べて多くの高価な機器・装置が必要であり、それらのうち最も低い性能の機器によりすべての性能が規定されてしまうことである。また、その作動体制によっても、想定外の低い性能での運用となりうる。現在提供されている高精細画像では、従来では観察できなかった非常に細かな石灰化を観察できるようになっているが、折角、25 μ や 50 μ の撮影・画像処理装置を導入しても、圧縮をかけて配信すれば 100 μ になってしまうということはその典型である。また、モニタ自体の性能を知ることも重要で、25 μ や 50 μ 画像を観察・読影しやすいモニタを揃える必要がある。最近では 15 メガピクセルモニタも販売されており、評価実験では高精細な画像表示に非常に適していることが証明された。しかし、こうしたモニタは 100 μ 画像では不要であり、それぞれに適した機器を揃えることが基本である。

日時：平成20年3月26日(水)
場所：東京第一ホテル鶴岡

平成19年度学校医講習会および母子保健講習会に参加して ～2～

鶴岡市立荘内病院 小児科
伊藤末志 先生

平成19年度母子保健講習会が開催された2月24日(日)は全国的に強風が吹き荒れ、講師が開始時間までに到着できず大幅に予定を変更して行われた。

メインテーマは「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指してー2」である。宮城県対がん協会会長の久道茂先生が「医学・医療の品格」の講演を予定していたが東北新幹線が運休のため時間に間に合わなかった。しかし、同名の著書が資料として配布されていたのでダイヤが乱れた帰りの電車内で読んでおくことができた。内容は後に述べる。

講演は「子どもの脳を守る」と題して小児脳神経外科医である女医の山崎大阪医療センター副所長が行った。小児科医として研修を始め二人の子どもを生み育て38歳で脳神経外科専門医になられた方で、脳外科医および女性医師としてみてきた「虐待による頭部外傷の増加」と「出生前診断の進歩(主に胎児期水頭症)とその重要性」について述べられた。

午後には「母子の心の健康を求めて」をテーマにシンポジウムが行われた。東邦大学教授の有田氏が「キレル」脳について講演した。生活習慣病としてメタボリックシンドロームが注目されているが、「キレル脳」と「うつの脳」も悪しき生活習慣に原因がある。心と身体の元気を作るセロトニン神経を弱らせる生活環境が構築されてしまったためと解説した。セロトニン神経を活性化させるには①リズム運動(呼吸・歩行・咀嚼)と②日照(太陽光)が重要だが、現代生活は①IT

化社会で運動不足、②昼夜逆転の生活でセロトニン神経を弱らせている。母と子のセロトニン神経を活性化させるための以下の4つの提案がなされた。1)母と子もリズム運動を日常的に繰り返そう、2)母と子もお日様を短時間浴びよう、3)母と子は、互いに呼吸を感じあおう、4)母と子は、スキンシップを繰り返そう。

次が、妊産婦のメンタルヘルスの理論と実際—ハイリスク者の早期発見と育児支援における医療チームの役割—と題し産後うつ病の実態と対策が述べられた。次は、「子どもの社会力を育てる」方策について、最後に「子どものころに出会う」と題して、大正大学人間学部臨床心理学教授の村瀬氏が心身に問題を持つ子どもやその親・家族に対する援助方法を解説した。

久道氏の「医学・医療の品格」は平成18年9月に薬事日報社から出版された。その少し前に出版された藤原正彦氏の「国家の品格」に啓発されて書いたと述べている。医師には経営者として、あるいはチーム医療の中心人物として、リーダーの品格が求められるが、医師不足により病院全体にゆとりがなくなり、今ではその品格も失われつつある。「品格」は一人では育たない。必ず「場」が必要。歴史、気候、環境、人間の出自、学問、文化、経済など、心のゆとり、余裕とでも言うのでしょうか。今盛んに言われている「医療の崩壊」を防ぐ手だてに、「品格」を論ずることでもいかでも寄与できないかと述べている。

日時：平成20年3月21日（金）

場所：ベルナール鶴岡

総会後の懇親会、喜寿祝賀会並びに病医院永年勤続者表彰式

【喜寿を迎えられた会員】

喜寿 伊藤 克彦 先生 桜井 晋 先生

【永年勤続者表彰受賞者】

鶴岡地区医師会	斎藤真理子	三井病院	辻 恵
鶴岡地区医師会	松浦由美子	三井病院	石塚 公夫
中目内科胃腸科医院	尾形 英み	三井病院	三浦 玲子
中目内科胃腸科医院	板垣 篤子	三井病院	成田久美子
中目内科胃腸科医院	佐藤真理子	渡部内科泌尿器科医院	難波 好
三井病院	門崎 恵美	三浦産婦人科医院	大川 直子
三井病院	松浦 和枝	戸田内科胃腸科医院	高橋 孝子
三井病院	荒井 美和	こどもクリニックすずき	下山千佳子

謝 辞

本日、栄誉ある表彰を受けました16名を代表して、ひとことお礼の言葉を申し上げます。

ただいま表彰された皆さんも入社して20年、この歳月を大過なく迎えることが出来ましたことに、深く感謝申し上げます。

私事ながら、3人の子供を出産してからの、再就職の職場での永年勤続表彰は本当にうれしい限りです。

ここまで勤めることが出来ましたのも、「やってみろ」と、背中を押して励まし、ご指導いただきました院長はじめ、いつも明るく、笑顔がいい、ガッツのある同僚のみんなに支えられてのことと、心より御礼申し上げます。

そして公私共にご指導いただきました奥さんに感謝しております。

今日はこの感激に酔いしれたいと思います。そして明日から、初心に戻り、いつも気持ちを患者さんに向けて、患者さんが満足していただける医療を目指して、努力していきたいと思います。

どうぞ皆さま、益々のご指導をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、鶴岡地区医師会の益々のご発展を祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。



平成 20 年度 鶴岡地区医師会役員

会 長	中 目 千 之									
副会長	三 原 一 郎	土 田 兼 史								
理 事	鈴 木 伸 男	竹 田 浩 洋	灘 岡 壽 英	齋 藤 慎						
	伊 藤 末 志	石 原 良	上 野 欣 一	五十嵐 裕						
	福 原 晶 子	中 村 秀 幸	上 野 寿 樹	横 山 靖						
監 事	齋 藤 憲 康	本 田 学	小 野 俊 孝							
議 長	黒羽根 洋 司									
副議長	渡 部 隆 二									

退任の先生 長い間ありがとうございました。

中 里 純 先生

H2.4 ～ H20.3 理事 9期 18年
H6.4 ～ H15.3 県医代議員 5期 10年
H14.4 ～ H16.3 県医副議長 1期 2年
H16.4 ～ H20.3 県医監事 2期 4年
その他多数

岡 田 恒 人 先生

H18.4 ～ H20.3 理事 1期 2年
H18.4 ～ H20.3 県医予備代議員 1期 2年

新任の先生 よろしくお願ひ致します。

監 事 小 野 俊 孝 先生

副議長 渡 部 隆 二 先生

庄内地域医療連携の会が目指すもの

庄内地域医療連携の会 代表
鶴岡市立荘内病院 地域医療連携室
佐藤 正

鶴岡地区医師会会員ならびに職員の皆様 はじめまして、こんにちは。

「庄内地域医療連携の会」代表の佐藤 正と申します。本業は医療ソーシャルワーカーです。この紙面をお借りしまして、僭越ながら私たち「庄内地域医療連携の会」をご紹介させていただきたいと思っております。

近年、地域医療連携の重要性が高まり、各病院に地域医療連携部門を設置し、地域医療連携の推進を図っていることはすでに皆様ご存知のとおりです。ただ、日常業務を行うなかで、相手の病院のことをよく理解せずに問い合わせをしたり、相手の顔がみえずに電話で話しをし、うまく調整できずに自分の机を叩き悩む日々が続いていました。どこの病院もお互いに相手をよく思わない傾向があると感じました。

「顔のみえる関係になりたい。」「病院のなかに閉じこもらず、地域へ出て医療連携に一石を投げたい。」との思いから、鶴岡協立病院、本間病院、庄内余目病院と私の4人（平均年齢32歳の若い力）が発起人となり、平成18年4月に「庄内地域医療連携の会」を任意の会として設立しました。庄内地区の病院間の連携を強化するために、連携実務担当者である医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員などの意見交換と情報共有の場として活動しています。残念ながら、いまだ医師の会員はおりませんが、会員数は庄内地区の全17病院から、総勢66名となっています。

活動内容としては、年4回学習会を開催しており、各病院の地域医療連携部門の紹介や連携実務事例の検討、地域医療連携に関する講演会、介護老人保健施設職員とのディスカッションなどを行いました。また、年3回ほど懇親会（飲み会）を行い親睦を深めており、これが何より一番大切と感じています。

残念ながら、前述のとおりこの会は任意の会であり、病院の業務として認められていない病院が多くあります。よって、時間外に会に参加する場合は、自分のプライベートの時間で参加したり、

会費が自費であったりするのが現状です。私はこの任意の会が、病院の正式な会（公の会）になることを目標に今後も全力でがんばっていきたいと思っております。それが必ずやこの地域の地域医療連携の推進と患者さんの利益につながるものと確信しています。まず行動を起こし、たとえ失敗が多くあったとしても、そこから生まれる成果を大切にしていきたいと思っております。

このたび庄内地域医療連携の会では、全国連携室ネットワーク連絡会（4月26日、27日 湯野浜温泉 亀や にて）の誘致に成功し、全国各地の地域医療連携先進病院の実務担当者が鶴岡市に集結し、日本の地域医療連携について語り合います。当日は鶴岡地区医師会の御協力により、鶴岡市が全国に誇れるものとして、Net4Uを三原一郎先生より、連携パスを田中俊尚先生よりそれぞれご講演いただく予定です。鶴岡の連携の素晴らしさを全国に発信していきたいと思っております。また、3年後はがん緩和ケア「庄内プロジェクト」も全国に誇れるものとなるでしょう。

最後に、私たちの地道なボトムアップ的活動を評価していただき、この執筆の機会をいただきました中目千之会長をはじめ、学術広報委員長の中村秀幸先生、広報委員の皆様へ感謝申し上げます。

今後とも庄内地域医療連携の会をよろしくお願いたします。



19年度・外部評価委員会のまとめ

当医師会では、当会の事業運営が、地域医療の発展のために十分な機能と役割をはたしているのかについて、各層の皆さんからご意見をいただくため、昨年度から外部評価委員会を開催してきました。

昨年度は有識者、経営コンサルタントにより評価していただき、本年度は、去る3月27日午後2時から荘内地区健康管理センター3階において、当会の各種事業を利用された方々とそのご家族の計11名をお招きし、貴重なご意見・ご感想をいただきました。

本号では、そのあらましをお知らせします。

(進行：中目会長)

(1) 荘内地区健康管理センター

評価

- ・政管の早朝健診は勤務に支障がなく、ありがたい。
- ・半日で50人をこなしているのは、職員の横の連携が良いからと思う。
- ・センターの狭さは気にならない(アンケート調査によると狭さを指摘する声もあった)。
- ・二次検診で医師を自分で選択できるのが良い。
- ・昼食も家庭的であり、味も良い。

意見

- ・事業所検診において二次検診の受診率が低いので、対策へのアドバイスをいただきたい。
(回答) 産業医に相談し、二次検診のタイムリミットを決めて指導したらどうか。
- ・マンモ検診や他のがん検診の料金を安ければ、対象外者にも勧めやすい。
(回答) 講演等で早期発見の意義と重要性を説明し、理解していただく。
マンモは2年に1回となっているが毎年受診していただきたい。
オプション項目を活用していただき、早期がんの発見に繋げてほしい。
- ・労災とも絡むが腰痛者が多い。予防の手立てがあれば伺いたい。
(回答) 原因は職場の問題とも絡むので、産業医に相談してほしい。
- ・結果通知票で、結果と基準値が裏表で全て同じ色なので、結果数値を黒にしたほうが見やすいと思う。
(回答) 結果通知票は20年度より大きさを変更し、結果と基準値を並べることにした。
また受付は20年度からは来た順にしたいと検討している。

(2) 在宅サービスセンター

評価

- ・その人に合わせ、体調を見ながら調整してくれるので大変満足している。
- ・湯田川川病院、みずばしょうも利用しているが、情報を共有してくれているので助かっている。
- ・(入浴)当初は拒んでいたが今は楽しみにしている。
- ・(入浴)3人で訪問してくれるが、必ず1名は同じ人が来てくれるのが良い。

意見

- ・PTが不足のように感じるので、増員を希望する。
(回答) PTの募集はしているが、なかなか集まらない。奨学金制度を導入し職員確保に努力している。

(3) 湯田川温泉リハビリテーション病院

評価

- ・ 昨年の7月から120日間利用したが、職員は介護に一生懸命だった。
- ・ 退院後でも送迎をしていただき、ありがたく感じている。

意見

- ・ 言葉遣いが気になる人、態度や行動が口と伴わない人がいる（デイケア利用時）。
（回答）職員の接遇教育をしていく。湯田川リハ病院には、業務改善委員会があり、どんな意見でもありがたいので聞かせて欲しい。
- ・ 食事はおいしいが、食堂が狭い。車いす利用者が多くなると移動時に隣の人に迷惑がかかる。
（回答）狭くて申し訳ないが、部屋にこもらずみんなで楽しく食事をしてもらいたいことと、動くことがリハビリにつながると思っている。
- ・ リハビリスタッフの雰囲気は良いが、技術の向上を希望する。
（回答）ベテランが少なく若い人が多いためかと思われる。
研修により多く参加し、技術向上を図れるよう努力している。
- ・ 夜勤のスタッフが不足ではないか。
（回答）以前よりは増員している。現状でがんばりたい。
- ・ リハビリを連休中（土曜日～月曜日など）でもできる体制を希望する。
（回答）祭日は無理であるが、土曜日の実施を検討している。

(4) 介護老人保健施設みずばしょう

評価

- ・ 玄関ホールの生け花、雛飾りなどは気持ちが和らぐ。
- ・ 認定介護度が軽くなり、感謝している。
- ・ 食事も風呂も良く、同年代との会話もはずみ、大変満足している。
- ・ 職員の態度、笑顔、言葉かけが利用者や家族に安心感を与えている。

意見

- ・ 手芸、生け花、コンサートなどの行事が少なくなったと感じるので復活を希望する。
（回答）実施回数は減っていないが、曜日に偏りが無いよう検討する。
- ・ 図書室の充実を希望（雑誌、新聞だけでなく短編小説など希望）。
- ・ 昼食時間が現在12時30分からとなっているが、15分早くしていただきたい。
- ・ 外の景観がよいので、説明付の案内板を設置してはどうか。
- ・ 入居中に、立つ、トイレの自立、入浴など日常動作ができるよう訓練をしてほしい。自宅に戻ってからの家族の為にもお願いしたい。
（回答）上記の4点については、希望に添えるよう検討する。

今回皆さんから頂戴したご意見を職員一同真摯に受けとめ、より一層地域住民の方々から喜んでいただけるような施設をめざし、研鑽していきたいと思います。

故 小 林 政 代 先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成 20 年 1 月 27 日死亡 享年 92 歳

弔 辞

小林政代先生、先生は去る 1 月 28 日午前 9 時 20 分、入院先である市立荘内病院において忽然とご逝去なされ、今日ここに、この葬儀をもってお別れしなければならないことになりました。

先生は、91 歳を超えられましたから、決して短命とは言えませんが、私ども会員一同は、常々、先生の健康が少しでもすぐれ、その 齢 も 1 日も長からんことを祈っておりまして、誠に残念で哀悼の極みであります。

ここに医師会会員並びに職員一同心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みますと先生は、昭和 13 年 3 月に大阪女子高等医学専門学校をご卒業された後、一時、同年 4 月から東京帝国大学物療内科に勤務され、さらに同年 9 月から東京都立駒込病院内科、並びに都立大塚病院産婦人科などを 4 年有余ほど歴任され、昭和 17 年に小林医院を開業されました。以後、今日まで 66 年間の長きにわたり開業医として献身的に地域医療に貢献されました。

この間、数多くの学校医や産業医をお引き受けいただき、活躍され、昭和 55 年には学校保健功労者として山形県学校保健連合会会長表彰を授かり、その後も、さらに山形県医師会会長並びに藤島町長からも栄誉ある表彰を授かりました。

先生のいろいろな面での活躍は、一言をもって申し上るならば、先生の存在は、地域の皆さんにとって、長きにわたり絶大の安心感を与え、信頼されてきたということでもあります。

特に、藤島地域は、古来、医師の数は極めて少なく、そういう状況の中で、徹底して地域医療に取り組まれてきた先生の生涯を拝見するとき、誠に頭の下がる思いがいたします。

これもひとえに、先生の地域に対する厚い情熱と志が人々に伝わり、また、先生の温厚、かつ、極めて高潔なお人柄が囑望され、今日に至ったもの

と思われま

と改めて、敬意と感謝を申し上げます。最近の世情は、ご案内のとおり少子高齢化の到来、たびかさなる医療制度改正、高度情報化の推進などにより医療界を取り巻く環境もめまぐるしく変わり、また、当医師会の事業活動も行政や地域からの要請もあり、激動のつばにありますが、こういう状況の中でも、我々は錯綜する地域の問題を大局的に把握し、坦々たる大道を行くがごとく、英断をもって行動し、また、患者さんの立場に立って地域医療につくしてまいる所存であります。

私どもは、これまで鶴岡地区医師会が築きあげてきた伝統を守り、諸先輩のご薫陶とご遺志を受け継ぎ、さらなる発展を続けていく決意であります。先生、どうぞ私どもを、これまで以上に見守ってください。

最後に、本日のご葬儀に当たり、先生のご逝去を悼み、また、生前の輝かしいご功績とご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉とします。

どうぞ、先生、安らかにお眠りください。

平成 20 年 2 月 1 日

鶴岡地区医師会

会 長 中 目 千 之

故 阿 部 信 乃 先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成 20 年 3 月 9 日死亡 享年 94 歳

阿部信乃先生。先生は、春の兆しもようやく見え始めた去る 3 月 9 日の早朝、94 歳のご高齢をもって静かにご逝去なされました。

先生は、昨年の年末に突然と倒れられ、昏睡のまま入院を続けられておりました。私ども会員一同は、早く元気に快復されることをお祈りしていましたが、病院関係者の懸命な治療とご家族の看護もおよばず、今日ここにお別れしなければならないことになったことは、誠に残念で哀悼の極みであります。

ここに弔辞を捧げ、医師会会員並びに職員一同心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みますと先生は、福島県須賀川市のご出身で、昭和 11 年 3 月に東京女子医学専門学校（現在の東京女子医科大学）をご卒業されると直ちに、須賀川市の公立病院外科に 2 年間勤務され、その後 13 年から 23 年までの 10 年間は義勇軍訓練所病院で奉職されました。終戦となってからは、はじめは天童市で 6 年間ほど開業され、この庄内の地に初めて足を踏み入れられたのは昭和 29 年の春でした。ちょうどその頃、藤島・長沼の日赤診療所に医師が不在のため、診療医をお引き受けられましたが、8 カ月後には日赤の事情で、この診療所が閉鎖されることになり、そこで現在の所に開業なされることを先生は決意されました。時に昭和 29 年 11 月のことであります。

以来、実に 72 年間の長きにわたって、開業医として、あるいは三川町内の学校医として、献身的に地域医療に貢献されました。

この先生の長きにわたるご活躍とご功績に対し、昭和 55 年には山形県学校保健連合会長による表彰、平成 11 年には山形県医師会学校保健功労者表彰、さらに平成 12 年には国保事業への功労者として、厚生大臣表彰の授与が行われました。

このような栄えある表彰は、当鶴岡地区管内の医療機関の配置状況をみると、三川地域は、古来、医師の数は極めて少ないなかで、地域の皆さんからは、長きにわたり信頼され、絶大の安心感を持たれ、地域医療に取り組みされてきたことを裏づけるものだと思います。

また、それは、ひとえに先生の地域に対する厚い情熱と志が人々に伝わり、先生の温厚、かつ、極めて高潔なお人柄が認められた証でもあると思われま

す。

改めて、ここに敬意と感謝を申し上げます。お聞きしますと、先生は本業のほか、お花を植栽し、生け花をつくり、あるいは観賞したり、また、大きな池で錦鯉を飼い育てたり、庭の手入れなどには特に余念がなかったようです。ご自宅の丹精に整備された日本庭園は、地元でも有名なばかりか、庄内日報社による庭園めぐりのコースともなっており、多くの参観者を楽しませていただきました。とりわけ先生が美的感覚の醸成に心を打ち込まれてきた生涯に敬服を感じる次第です。

最近の社会は、ご案内のとおり少子高齢化の到来、たびかさなる医療制度改正、高度情報化の時勢に移り変わり、医療界を取り巻く環境もめまぐるしく変わりつつあります。

こういう状況の中でも、我々は錯綜する地域の問題を大局的に把握し、坦々たる大道を行くがごとく、英断をもって行動し、また、患者さんの立場に立って地域医療につくしてまいらなければなりません。

私どもは、これまで鶴岡地区医師会が築きあげてきた伝統を守り、諸先輩のご薫陶とご遺志を受け継ぎ、さらなる発展を続けていく決意であります。先生、どうぞ私どもを、これまで以上に見守ってください。

最後に、本日のご葬儀に当たり、先生のご逝去を悼み、また、生前の輝かしいご功績とご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉とします。

どうぞ、先生、安らかに眠りください。

平成 20 年 3 月 15 日
鶴岡地区医師会
会 長 中 目 千 之

私のお勧めの店 その30

～ スペイン食べある記 - 4 - ～

横山 靖

バルセロナの街はドイツ車が多かった。EU加入以来、多くの分野でヨーロッパの大手資本がスペインに進出してきているらしい。

ところで日本の三菱の車にパジェロ (P a j e r o) というのがある。パリダカ・ラリーでも優勝した有名な車でスペインにも輸入されているが、別の名前がつけられている。なぜかって? P a j e r o (スペイン語読みならパヘロ) というのは『オナニー野郎』という意味になるのである。まあ、こういう事は車に限らずよくある話である。お気づきと思うが、スペイン語ではJはハヒフヘホで発音する。だから今回のツアーの主催者のJTBは、ジェー・テイ・ビーではなくホタ・テー・ベーと読む。迷子になった時、ジェー・テイ・ビーのツアー客だといっても通じないのである。

さて、バルサが負けて陰鬱なバルセロナを離れ、次にアルハンブラ宮殿のあるグラナダへ飛行機で向かう。国内線なので小さな機種でボーイング717と書いてある。ええー! 727でさえ古くて日本では現役を引退しているに、それより古い番号の機種って大丈夫?? しかし乗ってみると思いのほか新しかった。この飛行機はボーイング社と吸収合併されたマクダネル・ダグラス社のMD-95を名前をボーイング717と代え就航させたものだった。

アルハンブラ宮殿は人気があるのか満席で、各国の言葉が飛び交っている。グラナダまでは2時間ほど、途中機内から眺めたスペインの大地は荒涼としたものだった。冬ということもあるが、平原や山には緑はまったくない。まさに岩山と赤い砂漠という感じで、水が流れた後が峡谷のように大地をえぐり、スジ状に模様を刻んでいる。灰色と赤茶だけの生命を感じさせないような光景は、テレビでみた火星の表面の映像にそっくりである。しかし、思いのほかグラナダ空港のあたりは緑があった。実はグラナダは水の豊富な土地なのである。グラナダの背後には3000メートルを越えるシエラネバダ山脈が控え、山々の雪解け水が伏流水となりグラナダの街、そしてアルハンブラ宮殿を潤しているのである。シエラネバダ山脈



と聞くとアメリカにもそんな山脈あったな、と思う方もおられるだろう。それはもちろんスペインのシエラネバダ山脈に由来しているのだが、それ以外にもこの街の周辺の地名がついている合衆国の街も多い。ラスベガス、サンタフェなどもそうである。特にサンタフェはアメリカ大陸を発見したコロンブスとイザベラ女王が町で謁見しサンタフェ協約を結んだことで有名で、この協約によりコロンブスの新航路開拓によって得られた利益の10分の9はスペインに還元されることになり、後のスペインに黄金時代をもたらす。

話は戻るがシエラネバダ山脈といっても、シエラ (Sierra) はスペイン語ではもともと山脈と言う意味なので、シエラネバダ山脈と書くと、実際はネバダ山脈山脈みたいな意味になり変ではあるのだ。グラナダ空港に着くと、まず昼食を食べにグラナダの闘牛場に向かう。闘牛場の中のレストランでお昼を食べるのだ。面白いことに闘牛場は救急病院の道路をはさんで向かい側にあった。まさか牛にやられた闘牛士が運ばれるためではないだろうと思ったが、実際そういうことも多いらしい。この日はクリスマス・イヴということもあり、料理が運ばれてくると、「フェリス・ナヴィダー!!」とみんなに声をかけている。

スペインではメリー・クリスマスではなくフェリス・ナヴィダー。フェリスはお祝いの言葉、ナヴィダーは降誕という意味だから、キリスト降誕おめでとう、といったところである。昼食後、い

よいよアルハンブラ宮殿である。

アルハンブラ宮殿は世界的にも大人気で、予約しなければ入れない。1日の入場者数が決まっているし、時間的に30分で300人の制限があるところに、世界中から旅行者たちが、個人も団体も含めて押し寄せてくるのだから、チケットは3~6ヶ月前には申し込まないと取れないらしい。しかも入場時間が決まっていて、人数制限の関係で30分遅れる

ともうダメである。そうなる個人でチケットを予約しても、日本からスペインに渡り、その時間内に宮殿に辿りつくのは、言葉の不自由な日本人には至難のワザであり、ここだけは団体旅行が便利と思われる。

ちなみにスペイン語ではHは発音しないからAlhambraはアランブラとなるのだが、元々イスラムの建築物だしアルハンブラの呼んでもいいように思う。門を入ると右手にカルロス5世宮殿があり、左手にお目当ての王宮がある。一歩中にはいると、もうそこはアルプの世界。壁には細やかな細工やモザイク模様が施され、所々にコーランの言葉が刻まれている。中でも見所はアラヤネスのパティオ（天人花の中庭）であろう。

アルハンブラ宮殿の写真でよく見かけるところである。中央にはシェラネバダの伏流水の透明な水を湛えた池があり、そこに宮殿の美しい姿が鏡のように映し出されている。さらに美しいアラビア様式の柱が林のように立ち並ぶライオンのパティオ、天井のドームや窓枠がまるで鍾乳石のように幾重にも装飾されたアベンセラヘスの間と続く。特にアベンセラヘスの間の装飾の美しさ、その緻密さは驚くべきもので、西洋文化とはまた違う素晴らしさに感動した。この美しい天井の下で、王族のアベンセラヘス家の者がハーレムの女性との密通がバレて首を切られたそう。

そう、この王宮のハーレムにはたくさんの美しい女性たちが住んでいた。

外に出ることを許されなかった彼女らは音楽などを日々の楽しみにしていた。しかし、彼女らの前で演奏する音楽家たちは全員目を潰されていたそうである。なぜなら、王の愛した女性たちの肌を見ることは決して許されないことであつたから……。アラブとは凄惨な国である。

さて王宮を出るとイスラム教徒たちの移住区であった白い壁の家々からなるアルバイシン地区を見下ろすことができる。ここもアルハンブラ

宮殿とこれから回るヘネラリーフェ宮殿と一緒に世界遺産に登録されている。この地区の外側にはローマ時代の城壁が荒野の中を山の上まで続き、この城壁の下には今でもジプシーたちが穴を掘り暮らししているようだ。

ジプシーとはエジプトの人たちという意味らしいが、実際はエジプトに由来した民族ではなく、言語学からするとインドの北西、ヒマラヤの麓あたりの民族に由来するらしい。またジプシーという言葉は差別用語になるそうで、現在はロマと呼ばれているようだ。

王宮を出て庭園をしばらく歩くと、夏の離宮であるヘネラリーフェ宮殿に着く。やはりパティオが一際美しい。王宮のパティオが静寂を湛えた月の光のような美しさなら、ヘネラリーフェ宮殿のパティオにはオレンジの樹々が植えられ、池にはいくつもの噴水が舞い上がり、生命の躍動を感じさせ、太陽の光のような明るさがある。後ろ髪を引かれながらも、糸杉の並木道を歩いて宮殿を後にした。



「私のお勧めの店」30回達成を祝って

黒羽根 洋 司

横山靖先生の美味エッセイ「私のお勧めの店」が30回目を迎えた。平成17年10月15日号に『売虎庵』の鴨南蛮と『蕎麦福』の鴨そばが紹介されて以来、私たちは先生が案内する店と料理を楽しむ幸せを、30回も味わってきたというわけだ。

お店は大衆食堂からレストラン、庄内町や大山、果ては新潟県まで、そして驚くことには、今や国外スペインまで及んでいる。料理も誰も気づくはずもない焼飯から、庶民的な肉うどんや高級フランス料理まで、まさに食通ヤスシ天を駆けるごときである。

今度はどんなところかと私たちに期待を抱かせ、その都度裏切らずに楽しませてくる秘密は、書き手の姿勢にある。どんな店であれ、和洋中のいかなる料理であれ、美味しい物は誰が何と言おうと美味しいのである、という確固たる信念である。

自分の足と味覚で確かめた料理を、率直な表現で食体験の思い出や憧れなどを交えて、私たちに供してくれる「旨上手文（うまうまぶん）」は、ひょっとするとシェフ・横山の絶品料理なのかもしれない。

そして、この絶品料理には花田勝（3代目若乃花）や漫画『美味しんぼ』、上戸彩などが登場したり、術学的なうんちくが隠し味に使われていたり、気品のある味と歯ごたえのある食感を与えてくれるのである。（彼の表現を借りました。）

ところで、文学作品では食べ物のシーンが上手

に描けたらその作者は一流であるといわれている。

それはそうだろう。小説は「言葉にできないくらい悲しい」とか「言葉にできないくらいうれしい」という、その「言葉にできない」部分を言葉にしなければならぬのだから。人間の悲しみを描こうとするとき「悲しい」と書いてしまうと、真実の悲しみは表現できない。言葉とはもともとそういう不自由な道具であり、それを使って「言葉にならない美味しい」ものを表現するのは大変難しい。

そんな矛盾に立ち向かう勇気のない私は「うまいものは食べばよく、書くものでない」と開き直って、こうして横山先生へせめてエールを送っている。

ここで思い出すのは楠本健吉さんの箴言の一つである。

「私の知る限り味覚に冷淡なひとは、冷たいシビアな現実家が多い」。

横山先生の味覚を人一倍大事にする姿勢と人柄を知る私たちは、それぞれの言葉を反転しながら、この箴言が正しいことを実感するに違いない。

そして、楠本氏のひそみならっての私の箴言は、「左脳人間は人に“感心”を与えるが、右脳人間は“感激”を与える」である。

究極の右脳人間と自認する好漢横山が、これからも私たちに大いなる「感動」を与え続けられんことを祈りたい。

「私のお勧めの店」30回達成、おめでとう。

スキー同好会紹介 スキー同好会の合宿に参加して

日時：平成 20 年 3 月 8・9 日

場所：湯殿山スキー場

検診課 放射線科係 千葉 沙弥香

3月8日(土)、9日(日)に、湯殿山スキー場で恒例の医師会スキー同好会の合宿が行われました。今回で合宿は14回目となり、参加者は男性13名、女性6名の計19名でした。

1日目、湯殿山へ着くと民宿なかだいへ荷物を置き、すぐにグレンデへ向かいました。雪質はやや硬めでしたが春を感じさせる晴天となり、頂上から眺める景色は最高で、青い空と雪で真っ白くなった山々とのコントラストがとてもきれいでした。私は今季3回目のスノーボードだったので、久しぶりだったので恐怖心が出てしまい、初めはゆっくり恐る恐る滑ることで精一杯でした。そんな私をするりとかわしてスキーで滑っていく先生方を見て、いつまでも体力を維持してスポーツをなさって、向上心を持って挑んでいて素晴らしいと思い、私も見習わなければならないと奮起させられました。スキー組は傾斜がかなり大きい上級者コースも滑っており、頂上から颯爽と下りてくる姿に私は感動し、スキーへの興味が湧いてきました。スキーは中学校以来していませんが、機会があればしてみたいと思いました。

午前はあるという間に過ぎ、待ちに待った昼食の時間となりました。昼ご飯でステーキが出てくるとの噂でしたが、期待を超えた美味しさですぐに皿は空になってしまいました。それぞれビールや焼酎を飲みながら昼食をとり、ロッジでのひと



ときを楽しみました。

午後からは、時間が惜しいとばかりにグレンデへ飛び出していく方や、昼間から大分お酒が進んで横になって休む方など様々でしたが、皆さん1年振りのスキー合宿を満喫していたようでした。

夕方になって宿泊先へ戻り、ひと休みした後には宴会が始まりました。初めに自己紹介を行い、ボリュームたっぷりの料理とお酒と共に宴会を楽しみました。今回の合宿で、代表者が鈴木伸男先生から斎藤壽一先生へ引き継がれ、これからの決意と意気込みを述べられていました。宴会が進むにつれて酒量も捗り、1次会ではならず2次会・3次会に参加する者も大勢いました。夜中12時を回っても3次会は続き、全員が部屋へ帰ったのは午前2時を回っていたようでした。

2日目は滑らずに帰る人、昼過ぎまで滑っていた人と様々でしたが、全員怪我なく合宿を終わらせることができ良かったと思います。今回のスキー合宿を通して、日頃は職場が異なる方々とも交流を深めることができ、とても良い経験になりました。

最後に、合宿の準備と運営に当たられた幹事の皆様に改めて感謝し、厚くお礼を申し上げます。この同好会の合宿をより良いものにするために、来年は男女問わず大勢で参加しましょう。



表 紙

「梅」

真 島 吉 也

地球温暖化といわれているにしては今年の冬は雪が多いようです。やっと暖かくなり庭の古木の花も咲きました。続いて訪れる春爛漫の桜の季節をわくわくしながら待っています。

～ 編 集 後 記 ～

中村 秀幸

すすで汚れうずたかく積まれた雪もようやく解け、待ちに待った春がやってきました。先日、田園調布で行われた産業医研修会に出席してきました。東京は季節が1月ほど早く、会場近くの池上神社には、早咲きの桜や梅が咲きほころび、チンチョウゲのあまいほのかなかおりで包まれていました。はるうららという言葉がぴったりの日和でした。

4月から新年度、今年は役員の改選の年です。長年、人事経理や県医師会での多くの役職をお勤めいただいた中里純先生、インフルエンザ対策管理やみずばしょうの運営にご尽力いただいた岡田恒人先生、ご苦労様でした。また、新しく監査役になられた小野俊孝先生、副議長の渡部隆二先生、よろしくお願ひ致します。今年も医師会に多くのフレッシュヤーズが入社いたしました。歓迎いたします。中目会長のモットーは「楽しく厳しく」、仕事も一生懸命、遊びも思いっきり真剣にですよ。

今月号より、医療連携を推進していくための要である、施設の医療連携室の紹介が始まりました。皮切りは、当地区の要である荘内病院の佐藤正さんです。庄内地域医療連携の会には全17病院とのことで、これから連載を楽しみにしております。

横山靖先生の「私のお勧めの店」も30回を数え、黒羽根洋司先生よりお祝いの寄稿がありました。大評判の連載は今後も続きそうで期待しています。

当誌は次回より新しい編集体制で臨みます。二期目の編集長となりますが、皆様のお力をお借りして、情報の伝達のみではなく、ひといきつける、にやっと笑えるような清涼剤として考えております。

編集委員：中村秀幸・伊藤末志・斎藤憲康・五十嵐裕・福原晶子

発行所：社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail tsurumed@mwnet.or.jp

URL <http://www.mwnet.or.jp/~tsurumed/>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町27-1 TEL 22-0936(代)